

平成30年度 府立加悦谷高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成</p> <p>2 「地域の学校」として、信託と期待に応える学校づくり</p> <p>3 生徒、自らがつくる「安心・安全」な学校づくり</p>	<p>【成果】</p> <p>1 きめ細かい指導により、就職は100%決定し、進学は国公立大の合格は1名であったが、私大を含め難関校にも合格者を出すことができた。</p> <p>2 隔週土曜授業を行うことで平日は6限授業とし、放課後に自主活動の時間を確保することができた。</p> <p>3 ウェイトリフティング部と書道部が全国大会に出場した。その他の部活動も、陸上競技部の近畿大会出場など、部員数は少ないが活発に活動した。</p> <p>4 京都フロンティア校の取組、文化歴史推進校の取組、オリンピックパラリンピック教育の取組や地域イベントへの出演、出前授業、小中学校への学習支援、福祉施設ボランティアなど、地域を活性化することに貢献できた。</p> <p>5 学校評価で「本校に入学して良かった」と答えた生徒が81%、「本校に子供を入学させて良かった」と答えた保護者が90%と本校教育に高い満足度を得ている。</p> <p>6 学校の魅力化に向けた取組の中で、与謝野町との連携が大きく前進した。</p> <p>【課題】</p> <p>1 学力向上と一人一人の希望進路実現</p> <p>2 探究学習により、思考力・判断力・表現力など問題を解決に導く力の育成</p> <p>3 規範意識の更なる高揚</p> <p>4 部活動の更なる活性化</p> <p>5 ボランティア活動を含め地域貢献の推進</p> <p>6 広報を強化と入学希望者の増加</p> <p>7 学舎化を視野に入れた魅力の強化</p>	<p>1 <b>学力向上</b> 一人一人にきめ細かな指導を展開し、基礎学力及びより発展的な確かな学力を身につけさせるとともに、探究的な学習を導入し、主体的に学ぶ姿勢を育成する。</p> <p>2 <b>学校行事・部活動の充実</b> メリハリのある教育を展開し、平日の放課後を有効に活用させる。生徒会活動や部活動など自主活動の一層の充実を図る。</p> <p>3 <b>ボランティア・地域貢献</b> ボランティア活動を積極的に行うとともに、「出前授業」「きもの着付け教室」など地域やPTAと連携した取組を充実させ、地域に貢献し信頼される学校を目指す。</p> <p>4 <b>広報の充実・入学希望者の増加</b> 本校の取組をあらゆる機会を活用して発信し、入学希望者の増加につなげる。</p> <p>5 <b>学舎制に向けた魅力的な教育内容の検討</b> 32年度にスタートする学舎制に向け、小規模校の特性を生かした内容、入学する生徒が広い視野をもち大きく成長できる内容、学校と地域がともに発展する内容を検討し、学舎制導入後の魅力的な教育内容を練り上げる。</p>

評価領域	項目（重点目標）	具体的方策	評価			成果と課題
組織・運営	学校の特色化	地域創生推進校として、地域の活力に貢献する事業を展開する。さらに、加悦高魅力化コーディネーターとの連携を図り、地域の学校としての魅力ある学校づくりを推進する。				
		7限実施により学力保障をすると共に、部活動の活性化を図る。				
		ニュースレター・公式ホームページ・学校説明会などを通じて本校の魅力を発信し、入学希望者を増加させる。				
	指導体制の強化	部長会議等を充実させ、各分掌間の情報共有を図ることにより、いじめや問題事象の早期発見、早期対応に繋げる。				
	学舎制を視野に入れた取り組みの構築	本校の特色を活かしながら学舎制への移行を検討する。学舎制により可能になる取り組みを構築し、教職員の共通認識を図る。				
学習指導 ・ 進路指導	学力向上	授業アンケート等を参考にしながら授業内容を研究し、教員の資質能力を向上させると共に、生徒に「授業が解る」喜びを実感させる。  週末課題・校内コンテスト等により、学習に対するモチベーションを向上させ、主体的に学習する習慣を身につけさせる。				
	希望進路の実現	補講・模擬面接・個別指導・生徒一人一人の進路検討会等きめ細かい指導を行い、就職希望者の100%内定と大学合格率向上を達成する。				
生徒指導	規範意識の向上	あらゆる機会を通じて、あいさつや身だしなみをはじめマナーの重要性を理解させ、問題行動の未然防止に努める。				
	自主活動の活性化	主権者教育を含め、社会の構成員としての意識を高めるとともに自主性を身につけさせ、生徒会活動やボランティア活動を充実させる。  部活動加入率増加に向けた取り組みを充実させる共に、全国大会や近畿大会など上位の大会に出場する選手を育て、活気のある学校にする。				
健康・安全	教育環境の整備	日々の清掃活動や定期的な安全点検を通じて、安全で落ち着いた学習できる環境を整備する。				
	教育相談	教員間・分掌間の連携を密にし、また、関係機関や保護者との連携も図りながら、支援を要する生徒に対し、迅速できめ細かい手立てを行う。				